
afternoon

蒼井ぴあの

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

afternoon

【Nコード】

N7676B

【作者名】

蒼井ぴあの

【あらすじ】

頑張つて学校に行ったのに休講。最悪な一日を帳消しにするようにあなたと出会いました。

サイアク。

昨日は終電ギリギリまで遊んで、
そしたら案の定起きれなくて、
午前中の講義すべてサボった。

仕方ない。自業自得。それは良し。

でも午後の1つだけ！

次休んだら絶対ゼータ単位落とす講義があつて、
だから頑張つてこの郊外（というか山）の電車とバスと乗り継いで
やっと着くような大学まで来たつていうのに・・・

今日に限って休講。

サイアク。

（ああ同じこと前にも言ったっけ？どーでもいいけど。）

ありえない。

そりゃあ家で休講情報を確かめてこなかった私が悪いんだけどさ。
でもさ、あの教授が、あの1度も休講なんて今までなかったあの教
授が！

今日に限って休講にするなんて考えると思っっ？？

このためだけに今日来たのに・・・

私はあまりにも情けなくなって、とぼとぼとバスに舞い戻ろうとしたが、
バスはさっき出たばかり。

次は20分後?!?!!

サイアク。

どんだけここまで来るのに時間がかかったと思ってるの?!

くやしい。くやしい。

絶対何かして満足してから帰ってやる。

駅までのバスがようやくやく着いたら、お腹がすいてきたのでちょっと高そうなカフェに奮発して入る。

牛丼とかマックとかじゃあまりにも安っぽいし、
それじゃあこの怒りは収まりきららないんだから！！！！

私はカフェラテとホットサンドを頼み、手近な席に着いた。

「はあ〜」

怒りと呆れのまじった溜息がでた。

ホットサンドを勢いよく食べ終わると、心に少し余裕がでた。
時計をチラッと見ると午後2時前だった。

ランチタイムも終わりかけ、ティータイムでもないこの時間。
まわりを見ると平日なので制服の学生やOLなどもいないし、お喋
りのうるさい主婦もいない。

不思議な気分だ。

こんな時間にこういうカフェにいることなんてあまりないと思う。
休日ならまだしも。

1人で入ることもあまりないな・・・いつも誰かといた。

でも、こんな時間も楽しいかな。

そつとカフェラテに口をつけながら左右を見た。

隣の席には文庫本を読む男の人がひとり。

反対側はパソコンに向かうサラリーマン風の男の人と、その隣には雑誌をめくる女の人がいた。

みんな静かで、みんな独自の世界があつて、ちよつとだけ羨ましかった。

ああ、読みかけのあの小説持ってくればよかった。

文庫本を読んでいる人を見ながら思った。

その時ふいに彼と目が合った。

私はなんて怪しい女なのかしら……

そつと目を逸らそうとすると、彼はメガネを直しながら言った。

「今日は休講だったね。」

え。こんな人いたかしら・・・

私はぽかんとした。

漢字というものはすごいと思う。

私はまさに呆という字のように固まった。

「君は僕のことわかってないみたいだね。仕方ないよ。

僕はいつもあの講義は前の方に座っているし、存在感ないから。」

彼は口の端を少し上げて笑った。

彼の笑顔はあどけない少年のような、子犬のような雰囲気で、

私はきゅんとした。

恋なんて簡単だ。ストンと落ちてしまう。

そして恋は素晴らしい。

今日あったサイアクなことをすべて帳消しにしてしまう。

休講にした教授に感謝。

私をおいて発車したバスに感謝。

このぼったくりのように高いカフェに感謝。

今日のafternoonに感謝。

この2人がこのあとどうなったか。

それはまた別のおはなし。

(後書き)

続く予定がなかったり。。。評価お願いします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7676b/>

afternoon

2011年1月15日02時55分発行